

地域に愛され地域に貢献する子どもの育成を目指して

研究・取組の概要

城郷中学校

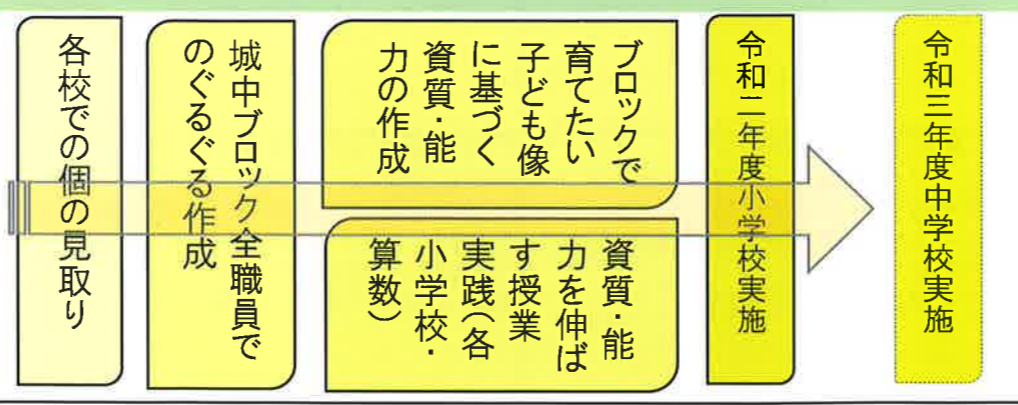
城郷中学校ブロックでは9年間で育てたい子ども像「地域に愛され、地域に貢献する子どもを育成する」という目標を決め、9年間で育成を目指す資質・能力のテーマを二つに絞って話し合いを重ねてきました。
今年度は昨年度ブロック内で共有した「9年間で育成を目指す資質・能力」の中から重点におくキーワードを一つに絞り、このキーワードを意識した授業実践を行いました。教科別協議会では、授業者が今回のキーワードにどのような思いを込めたか、今回のキーワードに向けて小学校では発達段階を踏まえてどのような手立てをしているかを話し合い、小学校からの系統的な指導を学ぶことができました。今回は一つのキーワードに絞った授業実践でしたが、今後はさらに広げて研究を重ねていきたいと考えています。

城郷小学校

ブロックで決めた「育てたい子ども像に迫るための資質・能力」について、授業や学校運営にどのようにいかしていくかを今年度の課題として取り組んでいます。本校では、昨年度より重点研究としてカリキュラム編成に取り組んでおり、編成の過程において、ブロックで育成を目指す資質・能力の共有を図るために、理科・社会科・総合的な学習の時間の単元配列表に学年に応じて育てるべき資質・能力を明記しています。さらに今年度は、算数科に焦点を当てて全学年で授業を見合い、そこで実施した手立てが、育成を目指す資質・能力の伸長につながっているかについて研究しているところです。

小机小学校

ブロックで共有した「育てたい子どもに迫るための資質・能力」を、いかにして普段の授業や学校運営の中に生かしていくかについて取り組んでいます。授業や学校生活の中に明確に位置付けていくために、職員全体で学年暦や教科配列表を精査し、そこで育てるべき資質・能力を明記して共通理解を図っています。また、算数科に焦点を当て、授業の中で育てたい資質・能力は何か、そしてその力を付けるための手立てを、どの場面でもどのように取るかについて研究しているところです。ただ作って終わり、ただ研究して終わりにするのではなく、実際に無理なく活用、実践できるよう工夫しているところです。



横浜市教育委員会 <令和元・2年度>
カリキュラム・マネジメント研究開発ブロック
城郷中学校・城郷小学校・小机小学校

研究主題 より確かな9年間の学びを求めて
～横浜市学力・学習状況調査 分析チャートの効果的な活用～

学習指導要領の改訂に伴い、教育委員会のカリキュラム・マネジメント要領に基づいて、地域を愛し地域に愛される子どもの育成を目指して、カリキュラム・マネジメントを進めています。令和元年度より、横浜市教育委員会からカリキュラム・マネジメント研究推進ブロックとして、城郷中学校・城郷小学校・小机小学校が指定されました。(城郷中には、東本郷小学校からも進学します)
ブロックで育む資質・能力(いわゆる「ぐるぐる」)とグランドデザインを共有してきたことを基に、基礎学力の定着と地域に愛され地域に貢献する子の育成を目指して、各学校に応じた基礎学力の充実と地域で学ぶ機会の多い社会科・理科・生活科・総合的な学習の時間の共有から整理をはじめました。今後も授業交流や講演会等方向性を共有し、教科間等のつながりを意識した改訂を進めていきます。

ブロックの特徴

城郷中、城郷小、小机小は、地域の方々や関係施設とのつながりが比較的強いブロックです。様々な学校行事や学年の取組の中に、地域の方がゲストとして関わっていたり、地域の材を生かした授業を展開したりしています。「地域に愛され、地域に貢献する子どもを育成する。」という城郷ブロックの10年間で育てる子ども像にも、「地域との関わりを大切にしていきたい」という教職員、地域の方、保護者の願いが込められています。一方で、基礎学力の定着について課題であると感じています。それは各校での日々の授業実践をもとに、ブロック間で行っている情報共有の場や授業参観で共通理解されているところです。この地域とのつながりを「自分を磨き、ともに輝く」、基礎学力向上を「自ら学び、鍛え、高める」というテーマに置き換え、ブロックの二つの柱にしています。

「ぐるぐる」の経緯

平成30年度の取組

「地域に愛され、地域に貢献する子ども」をしっかりと育成していくためには、それぞれの学校が独自に取り組むのではなく、ブロックで共通した資質・能力を明確にしておく必要があると考えました。平成30年の夏に、ブロック全体の教員が集まり、育成するために必要な資質・能力を出し合い、それを各学校の代表者が何度も集まり、二つの柱と発達段階に沿って、ぐるぐるにまとめていきました。今、そのぐるぐるは、ブロック内で育てる資質・能力の指針として学校経営や授業の中で生かされています。

8月30日授業公開・講演会(城郷中)

横浜国立大学教職員大学院の松原雅俊教授をお迎えして、『カリキュラムマネジメントの在り方』というテーマで講演をしていただきました。講演では主に①三つのつながりを大切にするという視点 ②学校教育活動の改善に向けた視点 ③カリキュラムマネジメントという視点 という三つの視点を獲得することの大切さについて話がありました。中でも①では授業のつながり、人とのつながり、学びの場のつながりの大切さについて、②では業務全体の点検と分散、教職員の業務の明確化と組織強化、教職員の健康管理と力量の形成の重要性について、③では求められる資質・能力を見据えてカリキュラムマネジメントづくりを行うことの大切さについて、という内容を具体的に説明していただきました。この講演を通して自校の実態や抱えている課題を考えることができ、今後のカリキュラムマネジメントづくりの一助となりました。

- 9月12日 算数科授業公開(城郷小)
 - 10月17日 算数科授業公開(小机小)
 - 1月30日 算数科授業研/資質・能力講演会(小机小)有馬 武裕 客員教授
- 発行 令和2年2月29日